



ステンレス製真空断熱タンブラー

取扱説明書

このたびは、当社のステンレス製真空断熱タンブラーをお買い上げいただきありがとうございます。ご使用になる前に、この説明書を最後まで必ずお読みいただき、正しく安全にご使用いただきますよう、お願いいたします。また、本書はご使用中にわからなくなった時、お役に立ちますので、いつでもみられるところに、大切に保管してください。

ご使用の前に

- はじめてご使用になる際は、食器用洗剤でよく洗ってからご使用ください。
- 底面のロットシールははがさないでください。
- 製品にガタつき、破損等はないか確認してからご使用ください。不具合があった場合、改造はせずに使用しないでください。

通常のお手入れ

- 使用後は、必ずその日のうちにお手入れしてください。食器用洗剤を薄めたお湯で柔らかいスポンジ・ふきんなどできれいに洗った後、水洗いしてください。水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。
- ※本体のつけおき洗いは絶対にしないでください。サビやものを汚す原因になります。
- ※食器洗浄機、食器乾燥機は使用しないでください。キズや故障の原因になります。
- ※お手入れ・乾燥が不十分だと水滴のあとが残ったりサビやものを汚す原因になります。
- ※飲み口のふちが薄くなっております。お手入れの際は、十分に注意してください。

タンブラー内びんにサビのような赤い斑点やザラザラしたものが付着してしまった場合には

サビのような赤い斑点が出来た場合

水に含まれる鉄分などが付着したものです。食酢を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れて、30分ほど放置した後、やわらかいスポンジブラシなどで、内壁をよく洗ってください。食酢が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

ザラザラしたものが付着した場合

水に含まれるカルシウムなどが付着したものです。クエン酸を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れて3時間ほど放置した後にやわらかいスポンジなどで、内びんの内壁をよく洗ってください。クエン酸が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

品質には万全を期しておりますが、万一不具合があった場合はご使用にならないで、お買い求めの販売店までご連絡ください。

品名	ステンレス製真空断熱タンブラー
材料の種類	内びん：ステンレス鋼 胴部：ステンレス鋼

【輸入販売元】株式会社アトラス

〒192-0906 東京都八王子市北野町549-1 第2石坂ビル
<http://www.atlas-scm.jp/>

お問い合わせ

TEL.042-660-8870

受付時間／9:00～18:00

月～金曜日（祝日・弊社休業日を除く）

⚠ 注意 必ずお守りください

- 幼児の手の届く場所には置かないでください。いたずらには注意してください。
- 本体のつけおき洗いはしないでください。
- 食器洗浄機・食器乾燥機は使用しないでください。
- 飲みものの保温・保冷以外に使用しないでください。
- ストーブやコンロなど火気のそばに近づけないでください。また直射日光の当たる場所で使用しないでください。
- 電子レンジで加熱しないでください。
- 冷凍庫に入れないでください。
- 倒したり、落としたり、ぶついたり、製品に強い振動、衝撃を与えないでください。
- タンブラー外側が結露したり、熱くなるような場合は、絶対に使用しないでください。やけどやケガなどの恐れがあります。
- 車中など、傾いたり転倒したりする可能性のある場所では絶対に使用しないでください。
- 飲みものは飲み口より1 cm程度少なめに入れてください。
- 熱いやかんなどを口金にあてないでください。
- 絶対に修理・分解・改造は行わないでください。
- 持ち運ぶ際は、内容物がこぼれないようにご注意ください。
- 携帯電話・デジタルカメラ・パソコンなど精密機器の近くでは使用しないでください。
- 飲みものを入れた状態で長時間放置しないでください。
- お茶などはお早めにお飲みください。
- お茶・コーヒーを入れた後は必ずお手入れをしてください。
- 大きな氷を入れる場合は押し込まず小さく砕いてお入れください。
- 缶ジュース・缶ビールなどを容器ごと入れないでください。
- ドライアイスは入れないでください。
- 煮沸はしないでください。
- シンナー・ベンジン・金属たわし・磨き粉・さらし粉・クレンザーは使用しないでください。
- 塩素系漂白剤を使用しないでください。
- 長時間使わないときは、十分に汚れを落とし、乾燥させ、湿気の少ない場所に保管してください。
- 真空二重構造の内部(真空層)から水の音がする場合は使用しないでください。(真空層の水が本体内側にしみ出した場合、飲んで体調不良の原因になります。)
- アイスピックなど先のとがったもので突かないでください。
- 底シールは、はがさないでください。